

取扱説明書

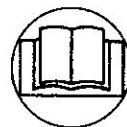
シバウラFM930

ホバーモア




当製品を安全に、また正しくお使いいただくために必ず本取扱説明書をお読みください。誤った使い方をした場合、事故発生のおそれもありますので十分に安全には注意を払い作業してください。

お読みになった後も必ず保存してください。



株式会社IHシバウラ

はじめに

1. この取扱説明書は本製品の取扱方法と使用上の注意事項について記載してあります。ご使用前には必ずこの取扱説明書を熟知するまでお読みのうえ、正しくお取扱いいただき、最良の状態でご使用ください。
2. お読みになったあとも必ず製品に近接して保存してください。
3. 製品を取扱説明書なしで貸し借りをしないでください。ホバーモアを使用する人は必ず取扱説明書を読み、安全を理解してから使用してください。
4. 製品を貸与または譲渡される場合は、この取扱説明書を製品に添付してお渡しください。
5. この取扱説明書を紛失または損傷された場合は、速やかに当社または当社の特約店・販売店にご注文ください。
6. なお、品質・性能向上あるいは安全上、使用部品の変更を行なうことがあります。その際には、本書の内容および写真・イラストなど一部が、本製品と一致しない場合がありますので、ご了承ください。
7. ご不明なことやお気付きのことがございましたら、お買上げいただきましたお店、またはお近くの特約店・販売店・農協にご相談ください。
8. 印付きの下記マークは、安全上、特に重要な項目ですので、必ずお守りください。



危険

適切な事前注意を払わなかった場合に、死亡や重大な傷害が生じる危険が極めて大きいことを示します。



警告

適切な事前注意を払わなかった場合に、死亡や重大な傷害が生じる危険が存在することを示します。



注意

安全な取扱いに対する助言、あるいは適切な事前注意を払わなかった場合に、傷害または製品の重大な破損に至る可能性があることを示します。

も く じ

1. 安全にご使用いただくために	2
2. 警告表示マーク	5
3. 仕様	6
4. 各部の名称と付属品	7
5. 運転準備	8
6. 運 転	11
7. 点検と整備	14
8. 故障と対策	17

1. 安全にご使用いただくために

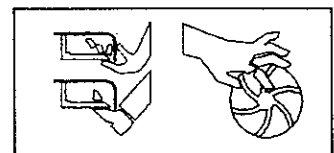
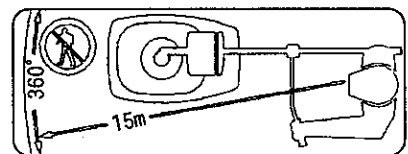
危 険

- ガソリンは極端に発火しやすい燃料です。もし洩れたり、スパークした場合は火事の原因ややけどあるいは刈払機を破損する原因となります。ガソリンを取扱う場合やオイルを混合する場合は特別の注意をしてください。煙草をすったり、その他の火を燃料に近づけてはいけません。
- 給油口に火を近づけると火災になるおそれがあります。
- エンジン回転中や、エンジンが熱い間は、絶対に給油をしないでください。燃料などに引火して火災の原因となることがあります。
- 燃料パイプが破損していると、燃料もれをおこしますので、必ず点検してください。火災を引き起こすことがあります。



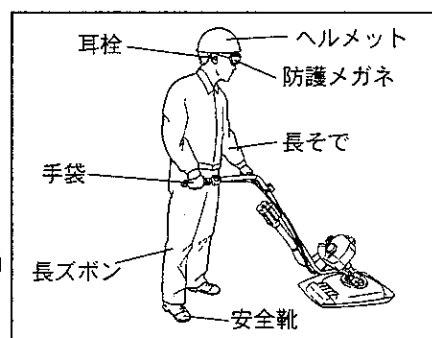
警 告

- 室内および換気の悪い場所での運転は排ガスが充満し、人体に有害です。
- 本製品を始動したり、運転する場合、人や動物などは15m以上遠ざけてから一人で操作してください。思わぬ傷害事故の原因となることがあります。
- エンジン回転中は回転羽根刈刃には絶対に手足を近づけないでください。



⚠ 注意

- 本製品は芝草を刈るために設計・製造されています。山林の下刈り等の用途で使用しないでください。
背丈の長い雑草、畦草刈り、地面の凹凸の激しい場所では性能を十分に発揮できない場合がありますのでご注意ください。
- 健康状態は良好でなければなりません。疲労している時は本製品を使用しないでください。芝刈作業で疲れた時は休んでください。又視力、機敏さ、判断力をそこなうような精神状態とか薬、アルコールなどの影響を受けている時も本製品を使用しないでください。
- 子供や取扱の指導を受けていない人には使用させないでください。
- 使用前は、機械各部の点検を行ないネジ類のゆるみや欠点がないか、特に刈刃の締付けに注意してください。又、刈刃の目立はどうか、損傷はないかを確認し、異常のないことを確認してください。
- 作業前に作業場の空缶、針金、小石等の有無を確認し、ある場合は取り除いてください。
- エンジンを始動する時は周囲に十分注意し、本機のデッキ部をしっかりと足で押し付けてリコイルスタータを引いてください。
- ハンドルはいつも両手でしっかりつかんでください。ハンドルとグリップが湿めっていたり、オイル、グリスがついていたらきれいにしてください。
片手では作業しないでください。
- 作業者は、足場に十分注意し、不安定な体勢はさけ、右図のような十分に安定した姿勢で作業し、手袋、ヘルメット、防護メガネ及び耳栓を着用してください。
- 服装は丈夫できちんと合ったものでしかも自由に動けるものを着用してください。又足を守るために長いズボン、滑りにくい安全靴をはいてください。
- 2人以上で作業する場合は、呼び子（ホイッスル）等で合図の方法をあらかじめ決めて、合図の徹底をしてください。又、人と人の間は15m以上を保ってください。
- 刈刃を石や地面にぶつけると、石などが飛ばされて危険ですからぶつけないように作業してください。ぶつけた時は、すぐ止めて点検をしてください。
- 刈刃部に草等が巻き付いて刈刃が停止した場合は必ずエンジンを停止してから草等を取り除いてください。



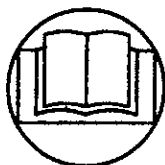
- デッキ上面の回転羽根上部に落葉、刈草等が付着した場合は必ずエンジンを停止してから草等を取り除いてください。
(草等が付着している場合は性能を十分に発揮できない場合があります。)
- 刈刃はいつもよく切れるものを使用し、(刈刃の研ぎ方は16ページの点検と整備の項参照ください。) 割れ、欠け、めくれ、まがり等がないか確かめてから使用し、異常がある場合は絶対に使用しないでください。
- 危険を感じたら直ちにエンジンを停止させて、その場から離れてください。
- 運転中はもとより、停止後もしばらくマフラやエンジン本体は高温ですので、触れないように注意してください。触れるとやけどのおそれがあります。
- 長時間連続して使用すると振動のために指の血管が痙攣性収縮をおこしたり、指の色が蒼白くなりずきずき痛んだりすることがあります。従って継続的又常用のユーザーは手や指の状態をよく把握し、もし徴候があったら直ちに医師の診断を受けてください。
- 一日の作業時間は2時間以内にしてください。疲労が重なると注意力が低下し、事故の原因となります。30～40分作業したら10～20分休憩してください。
- 作業を中断したり移動する時は、必ずエンジンを停止してください。
- どんな場合でも本機を勝手に改造しないでください。
- 一日の作業終了後にはメンテナンスカバーを取り外し、シリンダーフィン、点火コイル周りの刈草やゴミの詰まりを点検してください。
もし詰まっていたら必ず清掃を行なってください。(14頁参照)
(放置したまま運転を続けているとエンジンの冷却が悪くなり、焼付の原因になります。)
- 機械は大切に取扱ってください。誤って落としたり、ぶついたりしますと亀裂や破損を生ずる場合がありますのでご注意ください。

2. 警告表示マーク

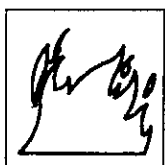
- 出来るだけ説明をわかりやすくするために、機械本体や取扱説明書には次の様なマークを使用しています。



特に重要な取扱上の警告事項です。ここに説明された事項については、まちがった取扱いをすると重大な事故や機械の故障の原因になりますので必ず守ってください。



ご使用になる前に、必ず取扱説明書をよくお読みください。



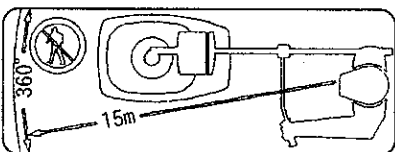
ガソリンを取扱う場合、煙草を吸ったりその他の火を燃料に近づけてはいけません。給油口に火を近づけてはいけません。ガソリンは極端に発火しやすいため、火事の原因ややけどあるいは機械を破損する原因となります。



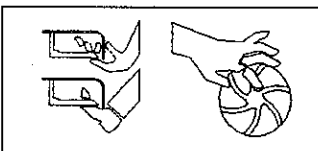
室内および換気の悪い場所での運転は排気ガスが充満し、人体に有害です。



作業時にはヘルメット、防護メガネ、耳栓を必ず着用してください。



作業員から15m以内に作業員以外の人や動物を入れてはいけません。人や動物が入ってきた時は、すぐにエンジンを停止し、刈刃を止めてください。



エンジン回転中には回転ファン、刈刃には絶対に手足を近づけないでください。刈刃の取外しの際には必ずエンジンを停止させて刈刃の回転が止まったのを確認してから行なってください。

- 警告表示ラベルが汚損したりはがれた場合は、お買い上げの販売店に注文し、新しいラベルに取り替えてください。
- 新しいラベルを貼る場合は、汚れを完全にふき取り、乾いた面にして元の位置に貼ってください。

3. 仕 様

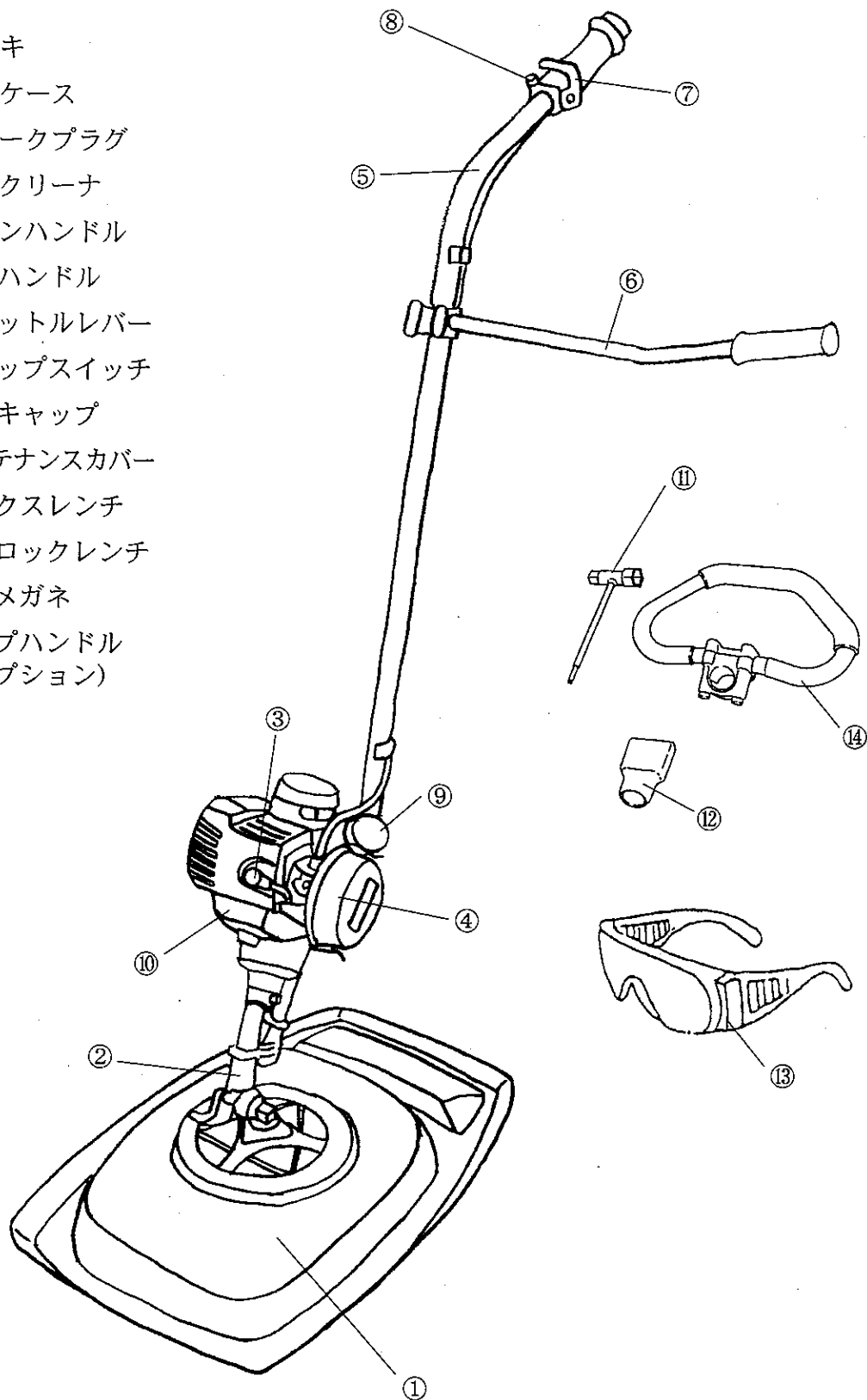
型 式	FM930	
寸 法(全長×全幅×全高) (mm)	1482×664×1022	
乾 燥 重 量 (kg)	7.8	
エ ン ジ ン	形 式	空冷2サイクルエンジン ME26D
	排 気 量 (cc)	25.6
	最 大 出 力 (kw/rpm)	1.05/7500
	使 用 燃 料	潤滑油混合ガソリン (混合比 50:1)
	燃料タンク容量 (ℓ)	0.64
	気 化 器	ダイヤフラム・ロータリバルブ式
	点 火 方 式	無接点式マグネット点火
	点 火 プ ラ グ	NGK BPMR7A
モ ア	刈 幅 (mm)	300
	刈 高 (mm)	5, 15, 25
	駆 動 方 式	自動遠心クラッチ
	デッキ部寸法(全長×全幅×全高) (mm)	665×440×164
付 属 品	取扱説明書, 19トルクスレンチ, 刈刃ロックレンチ, ループハンドル, 防護メガネ	

※ループハンドルはオプションです。

注1) この仕様は予告なく変更する事があります。

4. 各部の名称と付属品

- ① デッキ
- ② ギヤケース
- ③ スパークプラグ
- ④ エアクリーナ
- ⑤ メインハンドル
- ⑥ サブハンドル
- ⑦ スロットルレバー
- ⑧ ストップスイッチ
- ⑨ 燃料キャップ
- ⑩ メンテナンスカバー
- ⑪ トルクスレンチ
- ⑫ 刈刃ロックレンチ
- ⑬ 防護メガネ
- ⑭ ループハンドル
(オプション)

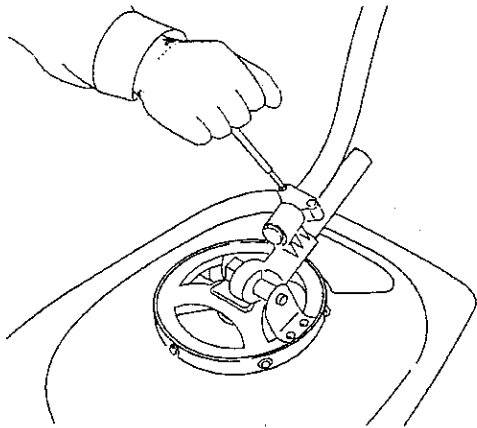


4. 運 転 準 備

● 組 立

出荷時には本体にエンジン及びメインハンドル、サブハンドルは組立されておりませんので、下記の要領で行なってください。

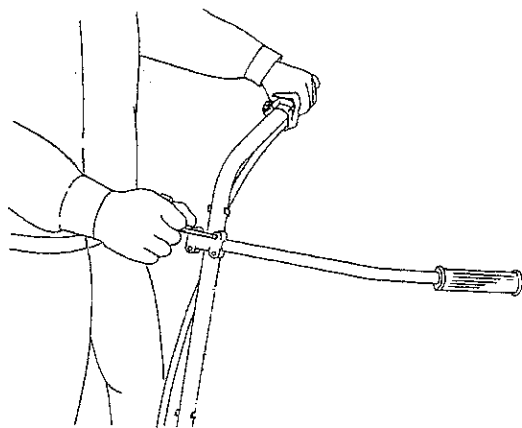
1) メインハンドルの組付け



図のように本体ギアケースにメインハンドルを図の位置まで差込みボルト2本でしっかり締付けてください。

このとき、ハンドルグリップ部が地面に対して垂直になるように固定してください。

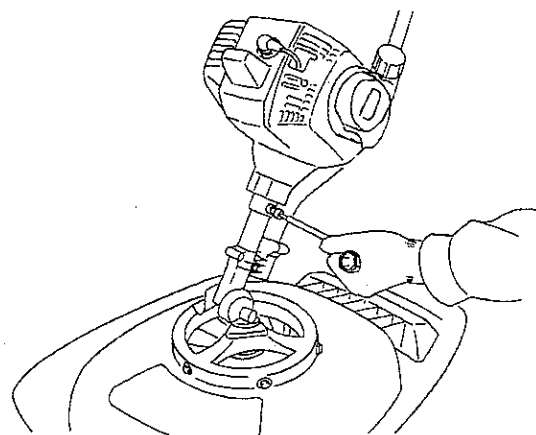
2) サブハンドルの組付け



図のようにサブハンドルを4本のボルトでしっかり締付けてください。

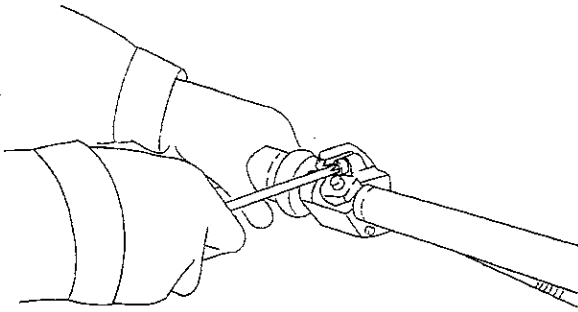
このとき、自分が最も扱い易い長さ角度で組付けてください。又、左利きの方は反対側へ組付けると良いでしょう。

3) エンジンの組付け



図のようにエンジン本体を十分奥まで確実にはめ込み、抜け止めネジ及びボルトをしっかり締付けてください。

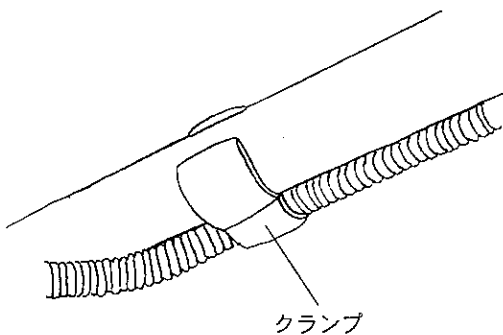
4) スロットルレバーの組付け



図のようにメインハンドルのグリップ部直前に締付けボルトにてしっかり固定してください。このとき、スロットルレバー及びストップスイッチが必ず上になるように取付けてください。

図の位置以外の場所には絶対に取付けないでください。緊急の時にすぐにエンジンを停止できません。

5) スロットルワイヤの取付け



図のようにクランプでスロットルワイヤを2ヶ所メインハンドルに取付けてください。

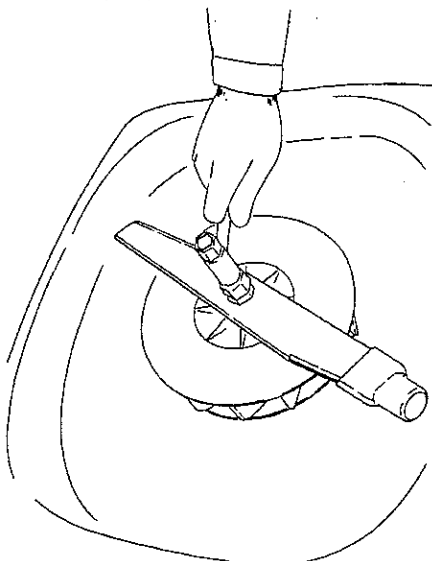
スロットルレバー側、エンジン側各1ヶ所。

● 刈刃高さ調整方法

本製品は刈刃の取付け高さが、5、15、25mmの3段階に調整できるようになっています。お望みの芝の刈り込み高さに合わせて刈刃を下記の要領で調整してください。

★出荷時には15mmの位置になっています。

1) 刈刃を取外す



図のように本機を横に倒して必ず刈刃ロックレンチを刈刃に差込み、刈刃ロックレンチを手で押さえてボルトを緩めて取外します。

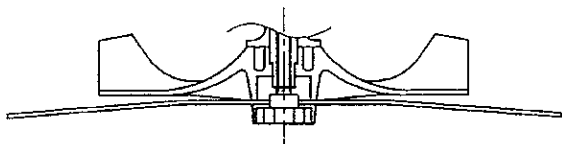
⚠ 注意

素手で刈刃を押さえないでください。手を負傷するおそれがあります。

⚠ 注意

ボルトは右ねじです。

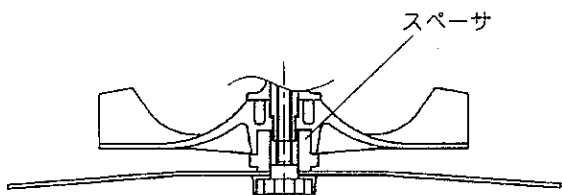
2) 刈刃を高くする場合
(刈り込み高さ約25mm)



スペーサを取外し、刈刃を直接ファン底面にあてボルトを締付けてください。

⚠ 取外したスペーサは、なくさないように注意してください。

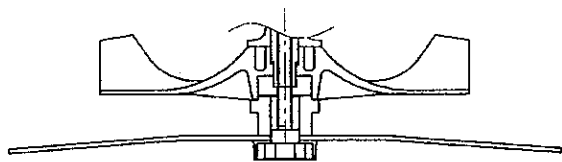
3) 刈刃を中間の高さにする場合
(刈り込み高さ約15mm)



スペーサの段付部の長い方をファンに挿入し、刈刃を取付けてください。

⚠ 出荷時にはこの状態にセットされています。

4) 刈刃を低くする場合
(刈り込み高さ約5mm)



スペーサの段付部の短い方をファンに挿入し、刈刃を取付けてください。

6. 運 転

1) 燃 料

- 燃料は普通の自動車用レギュラーガソリンに2サイクル専用オイルを混合した混合油を使用します。

混合比 (容積比)

ガソリン：2サイクル専用オイル (JASO FC級)

50 : 1

- 燃料タンクに燃料を8分目まで入れてください。

⚠ 危 険

- ガソリンは火気に充分注意をして取扱ってください。(爆発の危険性があります。)

⚠ 注 意

- ガソリンだけで運転するとエンジン焼付をおこします。
- 変質した燃料 (酸っぱい匂いがする。), 誤った混合比の燃料は使用しないでください。(始動不良や出力不足等のエンジン不調の原因になります。)
- 燃料がこぼれたら必ず拭き取ってください。衣服の汚れや火災の原因となります。
- 4サイクルエンジン用オイルは使用しないでください。(プラグ汚損やピストンリング固着, マフラー詰まりなどの原因となります。)

2) 各部の点検

- エンジン運転前には必ず点検してください。

① 燃料の点検

- ・燃料は入っていますか。
- ・古くなった燃料を使っていませんか。(上記「1)燃料」の項目に従い正しい燃料を補給してください。)
- ・タンクキャップは確実にしめてください。

② エアクリーナの点検

- ・エアクリーナエレメントが汚れていませんか。(汚れていたり, オイル分が乾燥している場合は15頁「日常の手入れ」の項目に従い点検・整備をしてください。)

③ 燃料ホースの点検

- ・燃料ホースのひび割れや亀裂、フューエルタンク、キャブレタへの差込み部からの抜けはないですか。（もしあれば燃料が漏れ、火災・爆発の原因になりますので必ずホースの交換又は整備をしてください。）

④ ボルト・ナット類の点検

- ・各部のネジやナット類のゆるみ、脱落などはないですか。（ゆるみ、脱落あれば整備してください。）

⑤ ゴミなどの点検

- ・本機全体の草やほこりを取り除き、特に冷却フィン、マフラ周辺のゴミを14頁の「日常の手入れ」の項目に従い取り除いてください。

⑥ 刈刃とファンの点検

- ・ひび割れや大きな傷がないか点検してください。ひび割れや大きな傷がある場合は危険ですから必ず新しいものと交換してください。

3) 始 動

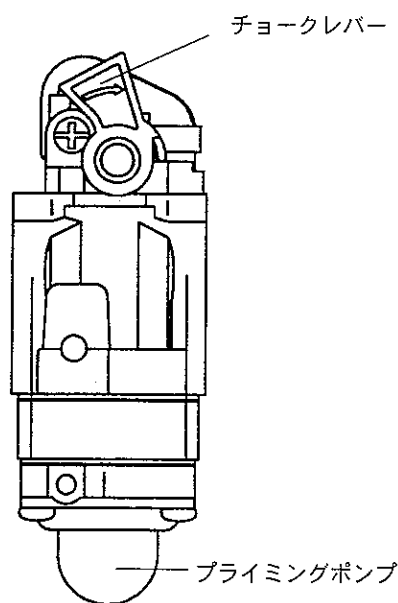
- 3頁に記述しているように、デッキ部をしっかりと足で押し付けてリコイルスタータを引いてください。

〔A〕 エンジンが冷えている時、及び燃料が切れた場合

- ① プライミングポンプの操作荷重が大きくなるまで繰り返し押ししてください。
- ② チョークレバーを時計方向へロックするまで回します。
- ③ スロットルレバーを最も低速側にします。
- ④ リコイルスタータを数回引くと始動します。

▲ 始動せず爆発音のみの場合には、チョークレバーを反時計方向へ戻してから再始動してください。

- ⑤ 始動後、スロットルレバーを高速側にすると、チョークレバーは自動的に元の位置へ戻ります。
- ⑥ アイドリングで十分に暖機運転をしてから作業を始めてください。



〔B〕 エンジンが暖まっている場合（エンジン停止後、再始動する場合）

- ① チョークレバーを全開にします。
- ② スロットルレバーを最も低速側にします。
- ③ リコイルスタータを引きます。

▲ プライミング操作を行うと始動が容易になります。

お願い

始動操作を何回繰返しても始動しない場合は吸い過ぎの状態が多いので、スロットルレバーを全開とし点火プラグを抜いた状態でリコイルを数回引き、余分な燃料を蒸発させた後に再始動してください。

4) 作業方法

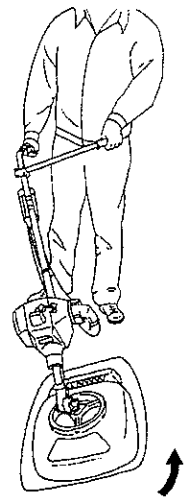
- エンジン始動後、スロットルレバーを開けるとエンジン回転が上がり機体がわずかに浮上します。このとき、図の如くわずかに本機を傾けておくと、エンジンは滑らかに加速します。

エンジン回転が安定したら（5～8秒後）本機を地面と平行にして作業を始めてください。

- 斜面の芝刈を行なう場合、必ず斜面の上側に立って作業をしてください。
- 濡れた草の上は滑りやすいので注意してください。
- 作業中、本機のハンドルは両手で握りデッキが常に地面に平行になるようにして作業をしてください。
- 丈夫で背丈の高い草は、刈刃を一番高くセットして刈ってください。
- 密集した芝生や背の高い草に本機を突っ込みますとエンジンの回転が急に低下することがあります。

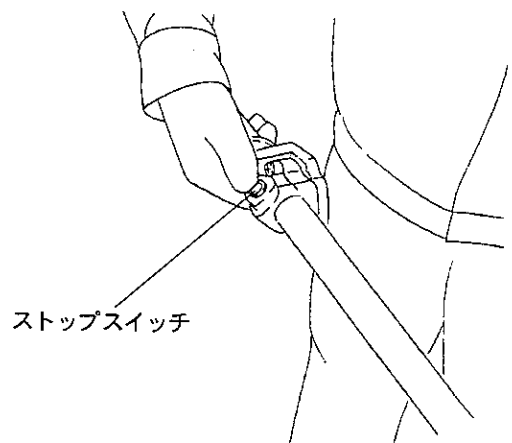
このようなときは、一度本機を手前に戻して、上図のようにわずかに傾けますとエンジン回転は再度上昇して安定します。数回の往復刈りをしてください。

- 濡れた芝はデッキ内面に付着しやすいので必ずエンジンを止め、時々掃除してください。



5) 停止

- ① スロットルレバーを戻してください。
- ② エンジンが停止するまで、ストップスイッチを押し続けてください。



7. 点 検 と 整 備

製品をいつまでも調子良く長持ちさせ、安全にご使用いただくために、定期的に点検・整備を行ってください。

⚠ 注 意

- 点検・整備をする前に必ずエンジンを停止し、冷えた状態でプラグキャップを外してください。
- ご自身で点検・整備できない場合はお買い上げの店に依頼してください。

整備箇所	整備内容	始動前	作業終了後	20時間	50時間	参照ページ
エンジン本体	目視検査	○				11, 12
	清 掃		○			
スロットルレバー	作動検査	○				9
ハンドルグリップ	清 掃	○				3
エアリーナ、エレメント	清 掃			○		15
燃料フィルタ	点 検				○	16
燃料タンク	洩れ点検	○				11, 12
	洗 浄				○	
キャブレタ	アイドルスクリューの点検	○				14, 15
スパークプラグ	電極清掃			○		16
	電極ギャップ調整				○	
シリンダ	フィン清掃		○			15
	排気口清掃				○	16
マフラ	清 掃				○	16
遠心クラッチ	清 掃				○	16
全てのスクリュー	点 検	○				3, 16
刈刃	目視点検	○				3, 4, 16
ギヤケース	点 検		○			16
	グリース補填				○	16

1) ダイヤフラムキャブレタの調整

- キャブレタは出荷時に調整されていますから、不必要に調整スクリューを動かさないでください。

● 再調整が必要になった場合には、下記の要領で行なってください。

① アイドリング調整

● クラッチが完全に切れて刈刃が止まり、エンジンが安定して回る位置に調整します。

● スロットルワイヤが途中で極端に曲るとアイドリング回転が上がる場合があるので注意してください。

● アイドリング回転数

FM930 2,700~3,000rpm

● アイドルスクリュ

時計回りに回す ... 回転が上がる

反時計回りに回す ... 回転が下がる

② 高速調整

● 低速調整スクリュでアイドリング回転が円滑になるように調整してください。

次に高速で運転し、高速調整スクリュを回して回転が円滑、且つ加速のスムーズな位置にセットしてください。

● 加速が悪い場合には、高速調整スクリュを徐々に時計回りに回していき、エンジン回転が最も高くなる位置を探します。その後70°~90°の範囲で反時計回りに戻して、加速調整します。

● 高速回転数

7,000~7,300rpm (舗装された路面上)

● 高速調整スクリュは全閉から反時計回りに1回転半戻した位置が標準です。

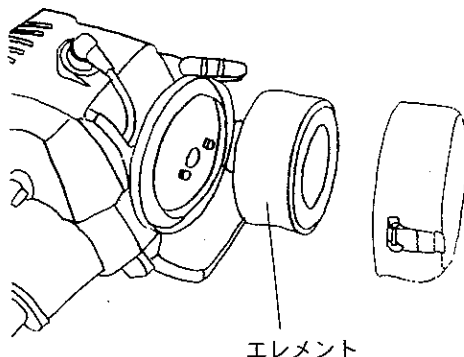
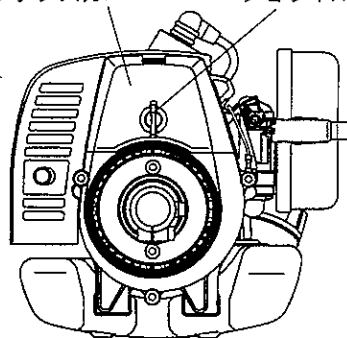
2) 日常の手入れ

● 本機全体の草やほこりを取除き、図のチョウボルトを弛めてメンテナンスカバーを取外し、内部の冷却フィン、マフラ周辺に刈草やゴミが詰まっていないか点検してください。

詰まっていたら周辺のゴミ、特に冷却フィンの間をきれいに取除いて、メンテナンスカバーを元通り組付けてください。

● エアクリーナのエレメントが汚れたら白灯油で洗浄し、点滴しない程度によく振り切ってから組込み使用してください。

メンテナンスカバー チョウボルト



エレメント

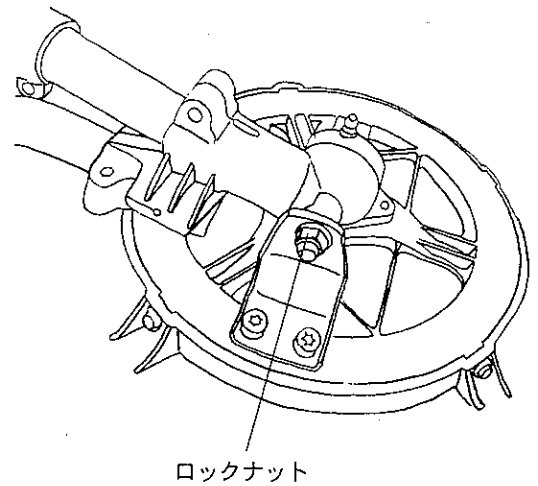
- 刃を研ぐ場合は左右とも均等に研いでバランスに注意してください。バランスがくずれると振動の原因になります。

グラインダを使用して研ぐときは強く押し付けて研いだり、急に水などに入れて冷やさないように注意してください。刃が脆くなり危険です。

- ギヤケース回動部にガタ、スキマが発生していないか点検してください。スキマが発生しガタついていたらロックナットを増し締めしてください。

適正トルクは4～5 N・mです。

- 各部締付け部分のゆるみ、部品の脱落を調べ燃料やグリスのもれがないか点検してください。



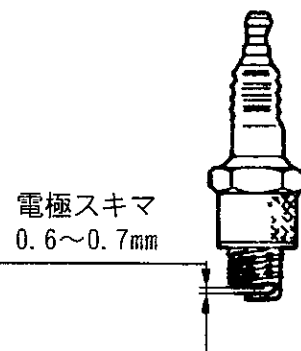
3) 50時間ごとの点検

- マフラ・シリンダの清掃

シリンダ排気孔やマフラ入口、出口にカーボンが付着しますと出力が低下しますので、マフラを取外して清掃してください。

- 点火プラグ電極スキマの点検

点火プラグの電極部が破損したり、カーボンが付着した場合は、紙ヤスリ等でみががいて電極スキマを0.6～0.7mm(ハガキ3枚分)に調整します。



- 遠心クラッチ、クラッチドラムを清掃してください。

- 燃料フィルタの清掃

針金等で燃料注入口から引出してきれいな白灯油で洗浄します。汚れがひどい時は、フィルターを交換の上、タンク内も清掃します。

⚠ 火気厳禁

- ギヤケース注油

50時間ごとにギヤケースにグリスを補給してください。

4) 長期保管

- 長期保管の場合は各部分を十分清掃し金属部品には薄くオイルを塗ってください。
- 燃料タンクの中の燃料を抜き、ガソリンをアイドリング状態で燃料を使い切るまで運転してください。
- 点火プラグの孔からオイルを少量流し込み2～3回コイルスタータを引き、圧縮のある点で止めてください。
- 損傷個所のある場合は修理してください。

8. 故障と対策

1) まったく始動しない。

- ① 燃料タンクに燃料が入っていますか。…… (確認の上補給)
- ② 燃料に水など混入していませんか。…… (点検, 交換)
- ③ 変質した燃料 (酸っぱい匂いがする。) を使用していませんか。…… (点検, 交換)
- ④ 燃料の吸い過ぎではありませんか。…… (点火プラグ点検) ……13頁参照
- ⑤ 燃料フィルタがつまっていますか。…… (点検, 清掃, 交換) ……16頁参照
- ⑥ 火花がでますか。…… (点火プラグの点検, 清掃, 交換)
…… (イグニッションコイルの点検, 交換)
…… (高圧コード, アース線の点検, 修理, 交換)
- ⑦ 圧縮がありますか。… (オイルシールの点検, リップ不良は交換)
… (シリンダ, ピストンリングの点検, 交換)
… (シリンダ取付面の点検, ボルトの増締, ガスケット交換)

2) 始動後回転が上がらない。

- ① チョークは全開にしましたか。…… (点検)
- ② 点火プラグは汚れていませんか。…… (点検, 清掃, 調整) ……16頁参照
- ③ 燃料の混合比を誤りませんでしたか。…… (点検) ……11頁参照
- ④ 燃料に水など混入していませんか。…… (点検, 交換)
- ⑤ キャブレタの調整は適正ですか。…… (点検, 調整) ……15頁参照
- ⑥ キャブレタのインシュレータ, ガスケットが破損していませんか。…… (点検, 交換)
- ⑦ 燃料ホースなどのヒビ割れなどがありますか。…… (点検, 交換)

3) 回転は続くが出力が十分でない。

- ① エアクリーナのエレメントが汚れていませんか。… (点検) ……15頁参照
- ② 冷却風通路やシリンダフィンにゴミが詰まっていませんか。… (点検, 清掃)
- ③ キャブレタの調整は適正ですか。… (点検, 調整) ……15頁参照
- ④ シリンダ排気孔やマフラ入口, 出口にカーボンが詰っていませんか。… (点検, 清掃)
- ⑤ シリンダ燃焼室にカーボンが付着していませんか。 (分解, 清掃)

4) 運転中回転が次第に下がり停止する。

- ① 燃料の混合比が適正ですか。… (点検) ……11頁参照
- ② 燃料に水など混入していませんか。… (点検, 交換)
- ③ 燃料系統 (燃料フィルタ, ホース, キャブレタ) にゴミなど詰っていませんか。… (点検, 清掃, 交換)
- ④ キャブレタのダイヤフラムは正常ですか。… (点検, 交換)
- ⑤ 火花は正常に飛んでいますか。
… (点火プラグ, イグニションコイル, 点検, 清掃, 交換)
- ⑥ 内部異常音がしていませんか。… (エンジン内部の点検, 修理)

5) 刈刃が回転しない。

- ① 刈刃の取付方法があっていますか。… (点検, 修理) ……9頁参照
- ② 草, ヒモなどが巻き付いていませんか。… (点検, 清掃)
- ③ クラッチシューが摩耗していませんか。… (点検, 交換)
- ④ ドライブシャフト, クラッチドラムが摩耗していませんか。… (点検, 交換)

6) 刈刃の回転は正常だが切味が悪い。

- ① 刈刃の取付方向はあっていますか。… (点検, 修理)
- ② 刈刃はよく研いでありますか。… (点検, 修理)

7) 振動が大きい。

- ① 刈刃締付ボルトがゆるんでいませんか。… (点検, 増締め)
- ② 刈刃が損傷したり, 曲ったりしていませんか。 (点検, 修理, 交換)
- ③ 刈刃のバランスはとれていますか。… (点検, 修理, 交換)
- ④ 各部締付部のボルト, ナットなどがゆるんでいませんか。… (点検, 修理)



Shibaura

保証書

このたびは ホバーモア をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
お買い上げいただきました製品につきまして、下記のとおり保証をいたします。

1. 保証期間

納入日から起算して満一ヶ年とします。

2. 保証内容

保証期間に於いて、本機を構成する部品、材料等に、設計及び製造上の欠陥があらわれ、弊社がこの欠陥を認めた場合に限り、弊社が認めた販売店、修理工場、サービス工場で当該部品の取り替え、または修理を無料でいたします。

3. 適用除外

保証期間内でも、下記の場合には保証いたしません。

- (1) 取扱い説明書に示す正常な取扱い、保守点検、整備が実施されなかった場合。
- (2) 使用上の不注意、過失によって、故障が生じた場合。
- (3) 弊社が規定する仕様の限度（刈刃の用途、回転速度）を越えて使用し故障した場合。

- (4) 弊社が認めない改造変更が原因となって故障した場合。
- (5) 弊社純正部品以外の部品使用が原因で故障した場合。
- (6) 弊社が認めた販売店、修理工場、サービス工場以外で修理され、故障した場合。
- (7) 故障判定資料の不十分なもの及び損傷部品を紛失された場合。
- (8) 消耗部品及び経時変化により発生した不具合。
- (9) 保証書の提示がない場合は有償となることがあります。
- (10) 保証書を紛失した場合は再発行いたしません。

以上

東京都中野区本町1-32-2



石川島芝浦機械株式会社



SHIBAURA

記

修理記録

1. お客様

(1) おところ

(2) おなまえ

印

2. 製品名

3. 機番

4. お買い上げ年月日 年 月 日

5. お買い上げ販売店

印

年月日	修理内容	サービス店	備考

1. 上記項目はお買い上げ先で記入いたします。
2. 記入捺印のない場合は無効です。

3. 保証修理をご請求される場合にはこの保証書を提出願います。



株式会社IHISHIBAURA

トラクタ・グリーン事業部

〒390-8714 長野県松本市石芝1-1-1

TEL 0263-88-0200 FAX 0263-27-0380

URL:www.ih-shibaura.com

北海道事務所
東北事務所
関東統括事務所
千葉サービスセンター
北関東事務所

西関東事務所
松本事務所
東海事務所
岡山事務所
九州事務所

R100 古紙配合率100%再生紙を使用しています。

720940060 04. 6. 300 S